

東京都浅草高等学校 令和7年度 年間授業計画

教科：公民
科目：公民
対象学年：2学年

使用教科書と教材は別紙を参照
該当教科と科目の目標
【知識及び技能】学習指導要領で示された内容を理解する。
【思考力、判断力、表現力等】学習指導要領で示された内容について表現する力を身に付ける。
【学びに向かう力、人間性等】学習指導要領で示された内容について日常生活に活用しようとする態度等を身に付ける。

単位数 2

指導項目・内容		指導項目・内容	評価規準	知	思	態	予定時数
4月	単元名：青年期と社会参画 知：青年期と社会参画について理解する。 思：青年期について表現する力を身に付ける。 学：青年期について、社会参画の重要性を認識し積極的に活用しようとする態度等を身に付ける。	教材や一人1台端末を活用しながら、主に以下の内容について指導する。 ・今後の授業の進め方や評価、準備物などについて理解する。 ・生涯における青年期の意義の理解を通して、自己形成の課題を追求する。 ・生涯における青年期の意義の理解を通して、自己形成の課題を追求する。	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】の3観点について、定期考査、出席状況、平常時の取り組み、課題の提出状況などを総合的に評価し、評価を行う。	○	○	○	2
5月	単元名：社会の基本原則と憲法の考え方 知：憲法について理解する。 思：憲法について表現する力を身に付ける。 学：憲法について、基本的人権の重要性を認識し積極的に活用しようとする態度等を身に付ける。	・キャリア形成と労働基準法について理解する。 ・近代立憲主義の成立について理解する。 ・基本的人権の尊重と権力分立について理解する。 ・近代市民革命と近代立憲主義の展開について理解する。 ・日本国憲法の制定と、三大原理について理解する。 ・平等権について理解する。 ・自由権について理解する。 ・社会権について理解する。 ・新しい人権をはじめとしたさまざまな人権、権利について理解する。					8
6月							4
7月							6
8月							0
9月							6
10月	単元名：法の意義と司法参加 知：社会規範と司法の役割を理解する。 思：法の意義について表現する力を身に付ける。 学：法の意義について、司法や裁判の重要性を認識し積極的に活用しようとする態度等を身に付ける。	教材や一人1台端末を活用しながら、主に以下の内容について指導する。 ・国民主権を生かした立法・行政・司法のしくみを理解する。 ・民法と刑法について身近な例を用いながら理解する。 ・裁判所の役割について理解する。					4
11月	単元名：民主社会と政治参加 知：民主社会と権力分立について理解する。 思：政治参加について表現する力を身に付ける。 学：民主社会について、政治参加の重要性を認識し積極的に活用しようとする態度等を身に付ける。	・刑事手続きの流れと課題、司法参加について理解する。 ・基本的な政治の知識について理解する。 ・国会の役割、しくみ、課題について理解する。 ・内閣の役割、しくみ、課題について理解する。					6
12月	単元名：私たちと経済 知：市場経済の仕組みを理解する。 思：経済の流れについて表現する力を身に付ける。 学：市場経済について、財政の機能の重要性を認識し積極的に活用しようとする態度等を身に付ける。	・基本的な経済の考え方、三つの主体と循環について理解する。 ・需要と供給、価格の決まり方、市場の失敗について理解する。 ・株式会社と企業の責任について理解する。 ・日本銀行と金融政策、課題について理解する。					4
1月							8
2月							2
3月							0